

# 「令和6年度前期、ありがとうございました。」

<南風 第10回 10月>

10月も中旬にさしかかり、ようやく夏の暑さも過ぎ去り、秋の訪れを感じるようになってきました。元気いっぱいの子たちも、ようやく体育の授業や休み時間に元気よく活動ができるようになってきました。運動上で楽しそうに活動しています。

令和6年度も半年がたち、まもなく前期が終わります。4月からここまで、ご協力、ご支援感謝いたします。ありがとうございました。4月から比べると、南っ子も身体や心も大きく成長しています。

今日の前期終業式でも、南っ子に4月からの成長やがんばりをほめて、後期への目標について話をさせてもらいました。そして、みんなで今日を迎えられるのは、自分ひとりではなく周りの人の支えもとても大きいので、その支えに感謝することについて伝えました。

最近、朝礼が実施されずに伸び伸びになっていた、「虹色きらきら南っ子の あ・い・う・え・お」の「え」の「笑顔」についても話をしました。この笑顔については、南っ子は4月から100点満点です！

今後もその笑顔を大切にしてほしいので、「笑顔でいるといいことがある」と伝えました。一つは、笑顔は人を前向きな気持ち、がんばろうという気持ちにしてくれるということです。笑うことで脳に「楽しい」という信号が伝わり、ものごとにも前向きになります。「ちょっと嫌だな」、「面倒だな」と思っていることに、暗い顔で取り組むよりも、明るい笑顔で取り組んだほうが結果的に気持ちよく終わった経験について全体に聞いてみました。多くの子が「うん、うん」とうなずきながら聞いてくれました。

もう一点は、笑顔が回りの人に伝わり、その笑顔がつながっていくことについてです。友だちの楽しい気持ちが自分にも伝わり、それがまた別の人にも伝わっていく「笑顔の輪」のすばらしさについて気付いてほしいと思いました。友だちと楽しい会話をしていると、自然と笑顔になり、心も明るくなってきます。そして、その周りにはまた他の友だちも集まってきます。

我々、教師も日々の多忙な業務の中で疲労してしまうこともあります。でも、南っ子の明るい笑顔に励まされ、そして元気をもらい「また明日からもがんばろう」と自分たちを奮い立たせています。子どもたちの笑顔こそ学校の大きな宝です。その宝を教職員一同で大切にしていきたいと願っています。

今日、子どもたちは通知表をもって帰宅します。わくわくどきどきの瞬間です。ぜひ、ご家庭でもここまでのがんばりをほめて、後半戦のがんばりへの励ましの声かけをお願いします。

朝、校内を巡回していると各教室から、あと2週間足らずに迫った「ふれあい運動会」の応援団の練習の元気な声が聞こえてきます。高学年のリーダーが各教室を訪れ、わかりやすく優しく指導してくれています。そして、教えてもらった子たちも楽しそうに体いっぱい使って、表現しています。見ていて本当にうれしくなる光景です。10月23日の「ふれあい運動会」の当日は楽しさいっぱい感動いっぱいになる予感しかしません！

ぜひ、ご参観いただきますようよろしくお願いいたします。

そして、次週からの令和6年度の後期も引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。